

大田区議会議員（無所属）

荒木ひでき 議会報告



電話一本

「走る何でも相談室」

号外 その 25

平成 19（2007）年 1月 1日発行

◆山 王事務所（安楽堂）

山 王 3-1-13 TEL 03(3771)4719

◆鶴の木事務所 TEL 03(3758)3864

鶴の木 2-16-7 FAX 03(3771)7613

◆http : //www.youmay.net /araki/

◆mail : arakihideki@md.point.ne.jp

「あなたの提言」 議会に届けます・Q ～あなたも提言してみませんか～

平成 18年 10月 4日 三定決算特別委員会 総括質疑（45分）

平成 18年 11月 29日 第四回定例会 代表質問（所要時間 45分）

- 緊急第2弾！ 子どもたちにもっと命の大切さを！！
- 元気高齢者の生活を活力あるものにするために！！
- 目指せ、福祉高齢者 110 番！！
- どうなってるの介護保険??
- 区職員の皆さ～ん、大田区の個店でもっと買物を！！
- 知ってますか？池上にある相撲部屋 などなど

討 議 資 料

平成18年10月4日 3定 決算特別委員会 総括質疑 (45分)



自分の目で見て、
自分の言葉でしゃべる

<第6弾> どうなる日赤大森病院???

荒木ひでき 日赤の話は今日で6回目です。これは大田区の大きな課題であり地元でも真剣に心配していますので、機会がある度に質問をしていきます。

平成18年度の一般会計第3次補正予算にも、中央四丁目アパートと旧大森保健所の解体工事費が計上されて、また新たな動きが出ているようであります。配布資料によれば、地上7階、地下2階、入院315床、外来1日850人程度の収容能力を有し、工事は2期に分かれて平成19年11月に着工、平成23年春先に全館開院とあります。補正予算にあります解体工事は、日赤に病院改築用地を提供するために行うものです。この土地は日赤に対しどのような形で提供されるのか、お答え下さい。

経営管理部長 日赤大森病院の現在の敷地が5400㎡ほどで、今おっしゃられた規模の建物を建てるということになりますと1.5~1.6倍ぐらいの土地が必要であります。私どもの区営四丁目アパートの敷地が1800㎡ほど、さらに隣の薬品会社の土地も含めると8800㎡ほどになることから、日赤は、病院拡張のためには大田区の土地が必要不可欠ということで折衝を重ね、アパートの居住者の方々のご協力を得、老朽化もあってここを廃止し、そして提供するということになりました。提供の形については、日赤が山王に300㎡ほどの土地を持っており、そこと交換し、残りにつきましては、有償で賃貸するということを基本に協議を継続しております。

荒木ひでき これだけの類をみないような大田区の協力に対して、日赤側は住民の地域の福祉や医療の向上に、どのような形で応えてくれるのでしょうか。

経営管理部長 まず、日赤大森病院の315床が地域の医療として必要不可欠で、この病院の存続自体が地域の医療計画上、大変重要であるという認識がございます。さらに、24時間365日の二次救急医療の実施、区民の救急用のベッドの確保、災害時の傷病者の受入れや全国の日赤病院からの医療スタッフの受入れなどによる災害体制の確保、こういった点が日赤から協力内容として提示されており、さらに協議を続けていく予定でございます。

荒木ひでき 居住者の方たちは、結構、納得されて、仮住まいに移転して頂いたようです。今後、山王三丁目等に区営住宅ができたなら再び移られるものと思います。居住者の願い通りになるよう鋭意努力をして頂きたいと思っておりますが、その辺の状況はどうですか。

まちづくり推進部長 中央四丁目アパートに居住された26世帯のうち、本移転が9世帯、仮移転は13世帯、もう区営住宅は結構ですと返還された世帯が4世帯となっております。仮移転の13世帯の方の建替住宅への移転希望は、山王三丁目12世帯、大森四丁目1世帯となっております。区としては今後、居住者の皆さんの希望にできるだけ添えるよう、最大限の努力をしていきたいと考えております。

<第6弾> どうなる大森北1丁目再開発???

荒木ひでき 大森北1丁目事業計画。旧入新井出張所の跡地にはすごい勢いでマンションが建っている。完成予想図なんかも新聞の折り込みに入っていて、皆さん、すごく注目をしてい

る。それに比べて、我がNTTの跡地。「ここは大田区の管理地です。この土地の管理についての問い合わせは…」と書いてある看板が5枚だけ。さらに、「入新井特別出張所や入新井図書館、大田北地域行政センターを集約して、行政サービスの利便性を向上します。また、大森のにぎわいと活力のあるまちづくりに関する民間活用を使った機能の導入を図ります。事業予定、平成17、18年が基本計画、平成19～20年度が建築工事、平成21年開設…」とある。何かこれ、情けなくて、全然よくわからないのです。ここに建物が建ち、基本的な考え方は素晴らしいことはわかるのだけれども、もっと工夫して頂きたい。

まちづくり推進部長 私も早速、どんなお知らせなのか見させてもらいましたが、確かに味気ないと思っております。現在、民間活力を活用したにぎわいの施設を建設する事業スキームを検討中で、年内に民間事業者を選定、その後、民間事業者が設計に着手し、来年度あたりに完成予想図を出せるという手はずでございます。

相撲部屋で地域の活性化を！！

荒木ひでき 相撲の話をして。池上に相撲部屋が引越してきて、力士が浴衣を着て歩いて通り過ぎると、プーンとびんつけ油の匂いをさせて、いいなど。これは大田区の地域活性化さらには観光のための大変な資源であり財産だと思うのです。教育においても、子どもたちに昔からある文化に触れさせることができたならどんなにか大田区は素晴らしい所になるのだろうと思っておりますが、区長、いかがでしょうか。

西野区長 お相撲さんというのは何となく一般の方とは異なって、魅力を街にもたらししてくれるだろうという思いもあります。商店街の会長も非常に頑張って、皆さんをまとめて、あのような横断幕を作っておられる。大田以外には中野の貴乃花部屋、あそこ以外ないのです。あとはみんな墨田区、台東区です。大鵬が千葉の方に部屋を持ったことがあるのですが、結局、また墨田区に戻ってしまった。ですから、うちは戻らないように、みんなで頑張って支援をしていきたいなど、そんな思いをもっております。

目指せ、福祉高齢者110番！！

荒木ひでき 私の母は84歳になるのですが、4月に倒れ救急車で運ばれました。今は何とか1人で歩けるようになりました。現在は、私が食事を作ったり気遣ったりしていますが、これだけでかなりくたびれてしまう。私がやっていることは介護の入口にもいかない。そう考えますと、介護に携わっている人は本当に大変だと、身をもって感じました。

もっと驚いたのは、自分が何を困っているか具体的にわからない。例えば、1日のカロリー摂取量1600kcal、たんぱく質45g、塩分6gと食事制限のマニュアルがあって、それでどうやって食事を作るのだなんていきなり言われても、いくら指導されても、難しくわからない。それで私は、大田北地域行政センターに行ったのです。保健福祉部の窓口で話をしたところ、栄養士の方が、たんぱくやカロリー計算、さらには、無塩バターやそば、うどんといった食材はどこで売っているとか料理の仕方まで、私に教えてくれたのです。折角こういう良い人たちがいるのに、どこに行ったらいいのかわからなかった。一般の区民の方もしかりと思うのです。

そこで、福祉高齢者110番みたいな、何か問題があったらここに電話しなさいよというような場所があったら本当に便利だなと。そして、そこであなたはここに行きなさいと交通整理をやってもらうとたらい回しにならずに親切だと思うのですが、いかがでしょうか。

西野区長 実は旧庁舎にいる時に、どなたの提案だったか、そのような趣旨で高齢者の総合相談窓口を作ったのです。そしてここへ移ってきた時にも、1階に高齢者総合相談というのを

作っており、区役所の仕組みとしてはそういう総合窓口はできている。ただ、PRがちょっと下手ですね。大いに、人ごとでなく、高齢者あるいは福祉相談はここへ行きなさいと、そういう形でPRを上手くできるように心がけていきたいと思います。

荒木ひでき 9月7日のNHKのテレビ番組で、介護保険改正の波紋で介護サービスが受けられない、要するに、ケアマネージャーが介護程度の低い人にはなかなか計画を出せないようになってどうにもならないという話がありました。今、大田区には20の包括支援センターがありますが、かかる問題点とその改善方法があったら是非、教えて下さい。

西野区長 今回の改正で、1人のケアマネージャーが担当する件数の上限が法令的に決められてしまい、今まではそれ以上に抱えてケアプランを作っていたところが、それができなくなった。そうすると、介護程度が高い方のケアプランは作るけれども、低く単価が安い人のプランは作れなくなってきている。程度が低い人がケアマネージャーの所に行っても、うちはいっぱいですからと断られてしまう。そういう人たちを今、包括支援センターの方で引受けざるを得ず、多くの方が来ている。これが、NHKが取上げた問題の一つで、大田区としてもできるだけ包括支援センターでそういう方々のご相談にのろうとしています。

区職員の皆さ〜ん、大田区の個店でもっとショッピングを！！

荒木ひでき 今回の産業のまちづくり条例の改正がなされた趣旨を説明願います。

産業経済部長 地域の商店街が協力してイベント事業で集客を図る、あるいは装飾灯を立ててその電気代を共同で負担するという取組みがあります。ところが、特にチェーン店が多いということですが、商店街に加入されずに商店街の取組みの恩恵を受けておられる店があるということから、強制はできませんけれども、積極的な参加、それから応分の負担をして頂きたいということで、この4月から条例を改正したものでございます。

荒木ひでき 具体的に成果が上がったとかという話はお聞きになりますか。

産業経済部長 目立った話は聞いておりませんが、現在、区商連でも対策委員会的のものを立ち上げて、各地域の商店街で未加入のお店に対して働きかけをされております。そして、幾つかの商店街で数軒の新規加入があったという報告を聞いております。

荒木ひでき これは経済産業省の「中小企業庁編がんばれ商店街77」という雑誌です。これを見ていると、やはりまだまだ頑張っているところがあるのだと思います。日本中77と書いてあるけれども、残念ながら大田区からは1個も入っていないのです。ぜひ、この大田区版を作って頂きたいと考えているのですけれども、いかがですか。

産業経済部長 現在、それを作るにあたって、その対象になる、頑張っている商店街が、まずどれだけあるのかということが問われる部分もあろうかと思えます。そういった意味では、是非作れるような、区内の商店街を育て上げていきたいと考えております。

荒木ひでき まさにそのとおりだと思います。個人の店は、とにかくやる気を出してもっともっと頑張らないと、どうにもならない。そこで、商人が頑張ろうとしている時に、産業経済部がやれることには是非手を貸して頂き、実現に協力してもらいたいと思います。

もう1つ、2年前に小松助役が鶴の木の商店街の新年会に来られて、私はパンツからワイシャツからスーツから靴まで、全部、大田区内の個店で買いますと挨拶された。それを聞いて、私はとてもうれしく思い、みんな大喝采していましたよね。大田区職員は約5,000人います。どうぞ、職員の皆さんもぜひ買えるものがあれば、区内の商店街で買って頂きたい。何かお住まいの地域で買うものがあったら、区内で買って、それから帰宅されますように。そういう1つ1つの積み重ねそれこそが本当の個人の店の応援になりますので、是非宜しく願います。

平成18年11月29日 第4回定例会 代表質問 (45分)

<緊急第2弾> 子どもたちに、もっと命の大切さを!!

荒木ひでき 私は「新井宿青少対」の副会長として、自分には一体何ができるのかを考えながら、「青少年の健全育成」について精一杯活動をしています。11月22日に新井宿青少対主催で、「地域のみなさん出番ですよ!シリーズ第5弾 今やさしさとほ」というテーマで地区集会を行いました。約100名の参加者から出た貴重な意見をもとに質問します。

私はホームレス猫の問題などを通して、金魚でもアリでも犬でも猫でも命はあるのだ。命を粗末にはしてはならないのだ。もっと子どもに命の大切さを教えてと訴え続けてまいりました。そのような中、なぜ「いじめ」は起きるのか。なぜ子どもが自殺するのか。どう防ぐのか。教育委員会としての考え方をお聞かせください。

教育長 いじめや自殺の背景は非常に複雑で、その原因や対応もケースバイケースであり、一般論で語り総括的に纏めることは出来ないと思っている。いじめや自殺に対する有効と思われる対応は着実にひとつひとつ実行していくしかないのではないかと。

荒木ひでき 今報道されている陰湿な「いじめ」は、学校の問題と言うよりは家庭の問題が大きいと考えますが、これに対してどう解決していくのか。又、恐喝や一方的な暴力に至っては、例えば学校で起こった事であったとしても刑事事件であると考えますが、警察との協力関係はどのようになっているのか、お聞かせください。

教育長 これが一番難しい問題である。学校でも保護者会、個人面談、さらには家庭訪問をし、色々とアプローチしているがなかなか難しい面がある。PTA、オヤジの会の力添えも是非賜りたいと思っている。恐喝や一方的な暴力に対しては、毅然とした対応を求められると思います。これは一般的な校内の生活指導を超えたものであり、警察と連携を図りながら対応していかなければならないケースが沢山あると思います。

荒木ひでき 大人になってもいじめはあります。世の中、いじめはあるのだという前提に立って「いじめられても自殺しない」子どもを育てていく必要があると考えますがいかがですか。

教育長 大変重要な点と思う。家庭・学校でも集団の中で自分の意見を言える子供に育てていくことを今まで以上に考えていかない。また、家庭・学校の中でも小さな課題や困難を与えて、助言しながらも、そこから自分の力で立ち上がっていく経験を小学校低学年までに与えるべきではないかと、現在、色々なことを検討中です。

荒木ひでき 地域の力が大きな抑止力になると思います。いじめ問題に限らず、もっと積極的な働きかけを学校側からしていくべきだと考えますがいかがでしょうか。

教育長 現時点で2点考えている。いじめは多くが潜伏して分からないという状況がある。もし、地域の方がそういったことをキャッチしたならば情報を頂きたいと点が1つ。もう1つは、やはり対応が難しいケースの場合。特に保護者の場合があるが、その時は、オヤジの会・PTA全体で向かっていかなければいけないと思っている。

荒木ひでき 蒲田郵便局管内消印の「いじめを原因とする自殺予告書」に関しての教育長の緊急アピール、さらには、教育センター教育相談室での電話での相談受付など、教育委員会の素早い対応にホッとしました。この事に関して説明をお願いします。

教育長 人の命に関わることなので極めて迅速な対応をした。区内中学生の可能性もあり、即、臨時保護者会と全生徒を対象とした個人面談を実施した。これは当該事件だけでなく、潜伏している場合も多くあり、全体集会や面談を通して発見していくとの意義も併せ持っている。

